

## 特別叙勲で旭日単光章を受章

地方自治の育成発展に貢献し、功績顕著な者に授与される特別叙勲において、平成29年3月16日に亡くなられた古川豊治さん（江栗）が旭日単光章を受章されました。これに伴い、6月26日（月）役場において、ご遺族の方へ勲章の授与が行われました。

古川さんは、昭和54年に旧菊水町議会議員に当選されて以来、永きにわたり旧菊水町議会議員を務められるとともに、多くの委員会や審議会に所属され、当町の発展に大きく貢献されました。また、豊かな経験と卓越した手腕を如何なく発揮され、地域の産業、教育、文化及びスポーツの振興と住民福祉の向上に尽力されました。これら数々の功績が認められ、この度の受章となりました。

ご遺族の方はこの受章について、「本人も喜んでいることでしょう。」と話されました。



本人に代わって勲章を受領された奥様の古川慶子さん（前列右）と二女の麻子さん（前列左）

## 将来の夢に向かって ～菊水中学校職場体験学習～

7月5日（水）、菊水中学校2、3年生の職場体験学習が行われ、町内事業所に生徒が出向き、仕事を体験しました。

役場本庁には2名が訪れ、広報なごみの取材を体験。7月に第2期がスタートした和水平地域雇用創造協議会を取材しました。

菊水ひまわり園では、一人ずつ教室を担当し保育の補助や、園児と一緒に折り紙などの活動を行いました。

生徒達は体験を終えて、「仕事は大変だったが勉強になりました。自分の夢を叶えるため、これからも一生懸命勉強を頑張りたい。」と話しました。



園児といっしょに楽しい時間を過ごしました

## 先輩に学ぶ ～菊水中学校命の日講話～

菊水中学校では毎月、「命の日」を設け、相手を思いやる心を持ち、楽しく学校生活を送るために学習しています。

7月12日（水）に行われた命の日学習は、菊水中学校出身で、益城町の再春館製薬所バドミントン部に所属する廣田彩花選手の講話がありました。

廣田選手は、高校卒業後に就職した会社のバドミントン部が廃部になり大変な時に、再春館製薬所が受け入れてくれたことを引き合いに出し、先生や友達、周りの人に感謝して生きることの大切さを生徒に話しました。

また、講話の後には、生徒とバドミントンをして交流し、生徒はトップレベルの技に歓声を上げていました。



廣田選手とそのプレーに見入る生徒

## 出前講座「うまい話にやウラがある!～消費者トラブル～」を開催

6月17日（土）、馬場区公民館で消費者トラブル回避の出前講座が行われました。

馬場区では、「学びのばば」と題し、年に3回程度学習会を開催しています。この一環として開催された出前講座には、18名の馬場区民が集いました。

講師から、和水平町でも実際に起こっている消費者トラブルの話、クーリング・オフ制度やトラブルから身を守る方法を聞き、参加者は熱心に学習していました。

総務課では、消費者トラブルに関する相談を随時受け付けています。相談の受付や出前講座の依頼など、お気軽にお電話ください。



メモを取りながら講話に耳を傾ける区民

## 箱根駅伝優勝校のトレーニングを学ぶ

6月18日（日）、スカイドーム2000で「陸上競技トレーニング講習会」が開催されました。

これは、和水平町陸上競技協会が主催し、町内外から中学生とその指導者・保護者など約70人が参加。講師として、2013年に日本体育大学のトレーニングコーチとして箱根駅伝優勝に大きく貢献した原健介さんをお招きし、その優勝のカギとなった「ベース・コントロール・トレーニング（BCT）」というトレーニング方法を学びました。

当日、中学生たちは走る時の姿勢を意識しながら練習しました。筋肉の構造や体の使い方など難しい内容も、ユーモアを交えた指導により楽しく引き込まれるように話を聞き、体を動かし、箱根駅伝優勝に繋がったトレーニングを肌で感じました。

参加者は、「練習の意識が変わった。箱根駅伝を目指す選手になれるようにがんばりたい」と話しました。



BCTトレーニングを学ぶ中学生たち  
右は講師の原さん

## 菊水西小学校全校児童で田植え体験

6月19日（月）、菊水西小学校の全校児童31人が田植え体験をしました。

昨年までは、5年生が学校の花壇で田植え体験をしていましたが、今年は地域の人たちのご協力で全校児童で田植え体験ができました。

当日は地域の人たちに教えていただきながら、一生懸命苗を植えていました。上達した上級生が下級生に優しく教える姿がとても印象的でした。

田んぼに立てた「西っ子田んぼ」と書かれた看板は、5、6年生が作りしました。

秋の収穫を楽しみに、米作りを勉強していきます。



田植えをする菊水西小の子どもたち